

当院にて子宮頸癌に対し根治目的の放射線治療あるいは同時化学放射線療法を受けられた患者さんへのお知らせ

研究課題「子宮頸がんに対する根治目的の放射線治療または同時化学放射線療法後の頸部腫瘍残存例における救済的子宮摘出術の実施

状況の関する調査研究」(審査番号：11482)について

当院では、子宮頸がんに対する根治目的の放射線治療または同時化学放射線療法後の頸部腫瘍残存例における救済的子宮摘出術の実施状況の関する調査研究(審査番号：11482)を行っています。

【対象となる方】

2005年4月1日～2014年12月31日の間に東京大学医学部附属病院女性外科において、子宮頸癌に対し放射線治療あるいは同時化学放射線療法を受けられた方全て。

【研究の意義】

この調査研究により、行われた治療法の中で根治治療完遂を目的とした子宮摘出術に適した対象群を抽出し、子宮摘出術の有用性を検証する前向き研究を計画する。

【研究の目的】

子宮頸がんに対する根治目的の放射線治療あるいは同時化学放射線療法後に頸部残存腫瘍を有する患者に対して行った治療法を網羅的に観察することにより、それらの安全性と有効性を検討する。

【研究の方法】

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、東京大学医学部倫理委員会の承認のうえ実施されます。後方視的な診療録調査で、子宮頸がんに対する根治目的の放射線治療あるいは同時化学放射線療法後に頸部残存腫瘍を有する患者に対して行った治療法を網羅的に解析します。新たな人体試料は採取致しません。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で、学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。個人が判別できない状況で研究を行いますので、患者さんの個人状況が公表されたり、外部に漏れたりすることはありません。上記の研究において、ご自身の診療情報が利用されることについて、ご同意頂けない場合には、お手数ではございますが、下記の研究事務局まで御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

2017年5月

【研究機関名】

東京大学医学部附属病院女性外科

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院女性外科

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 33407） FAX：03-3816-2017

Eメールでのお問い合わせ：katsutoshi-tky@umin.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院

診療科名 女性外科 研究責任者名 織田 克利